

項目	ご意見	対応状況
<p>参入・促進</p>	<p>福祉・介護のイメージ戦略が重要。（高い専門性やスキルを持った人にスポットライトをあてビジュアルで示せないか） また若者はスマートフォンで情報を集めることから、SNSでのPRが重要</p>	<p>【継続】 ・学生の福祉・介護の仕事への理解促進（大学キャラバン）として、学生が奈良県内の事業所への就職を考えるきっかけとするため、PR隊員を大学に派遣し事業所の仕事等を実感できる説明会を実施している。 ・SNSを活用した情報発信として、大学キャラバンや福祉のお仕事魅力発見セミナー（小中学校にPR隊員を派遣し、福祉・介護の仕事をしたきっかけややりがいや魅力について講話）の様子をSNSにより情報発信している。 【新規】 ・福祉・介護の仕事の魅力を伝えるショート動画を作成し、YouTubeショート、地域メディア等で配信していく。 PR隊員の職場環境の魅力や、ベテラン職員と若手職員の座談会についての記事について1.6万人以上のフォロワーで奈良の地域情報を発信する人気のFacebookで配信を予定している。 20～40代の若者、働き世代に情報発信することにより福祉・介護に興味・関心を持つ機会を創出していく。 ・奈良県人材センターにおいて、福祉現場で働く職員の方々にスポットを当て、仕事もプライベートも充実している現場の魅力をPRする動画を作成。福祉人材センターのYouTubeチャンネルで発信の他、YouTubeやFacebookでショート動画を広告配信する予定。</p>
	<p>サービスを受ける利用者からの感謝や人のために働いている実感することができるといったことを理由に働く人も多いと考える。社会的貢献をしたという求職者の方も多いため、利用者の感謝の声を吸い上げるにより、社会的貢献ができることをアピールできるのではないかと</p>	<p>【継続】 ・令和4年度に作成した「福祉・介護の仕事の現在地」のパンフレットにおいて、利用者の感謝の声についても掲載することにより、社会的意義のある将来性の高い仕事であることをPR。 【新規】 ・令和5年度についても仕事の魅力を伝える取材記事のなかで、利用者さんの声を取り上げるにより、社会的に意義の大きい仕事であることをアピールしていく。</p>
	<p>マスコットキャラクター（フクシカくん）が、色々な場所で目に触れるようにしていくことが必要</p>	<p>【継続】 ・郡山イオン、橿原イオンで開催する地域別就職フェアや福祉の就職フェアなど各種イベントに登場し、より多くの集客効果を狙う。 ・奈良県福祉人材センターにおいて、フクシカくんのシール、クリアファイルを作成し、イベントなどにおいてPRすることにより、認証制度の認知度を高めていく。</p>
	<p>外国人戦略についても重要である。外国人材安心して働ける職場づくりが必要である。</p>	<p>【継続】 ・経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者については、受け入れた施設（介護・障害）が実施する日本語学習及び介護分野の専門学習を支援するため、平成22年度より補助事業を実施している。 ・留学生については、将来県内において介護福祉士の業務に従事しようとする留学生を修学資金の貸与により支援する法人に対し、その支援に要する資金（支援資金）を貸与する事業を令和元年度より実施しており、令和4年度からは支援資金に学費を追加し、拡充を行った。また、介護福祉士養成施設に通う留学生については、奈良県社会福祉協議会が行っている「介護福祉士修学資金貸付事業」において養成施設に修学するための資金の貸付を実施している。 ・在留資格にかかわらず外国人介護人材を受け入れている事業所が実施する日本語学習や生活支援に係る経費を支援するため、令和3年度より補助事業を実施している。 ・県内介護事業所を対象に、外国人介護人材に係る制度概要や必要な支援内容を伝えるセミナーを令和元年度より開催している。</p>